

千葉市青少年相談員連絡協議会

(令和3年度 千葉市葛城中学校学区による主催事業)

地域マップ作成事業



日時：令和3年6月1日

(火)

場所：葛城中学校学区内

参加対象・人数：720名(10名)

6月初旬	保護者から意見聴取
6月中旬	意見集計
7月	危険箇所確認調査
9月	マップ作成
10月	報告書配付

【活動について】

学区内における危険箇所の情報を共有することにより、登下校時や日常生活における児童生徒の安全確保を図り、地域全体の安全・防犯意識を高めることを目的に活動しました。

保護者からの意見をもとに、現地調査し、危険箇所を特定する地域マップを作成しました。

ここがPoint！

- ・全保護者にアンケートを行うことにより、親子で危険箇所について話し合うことができました。通学路などの身近な地域を観察し、安全・防犯意識を高めるきっかけになったと思います。
- ・保護者からのアンケートを集計することにより、改めて地域の危険箇所を特定し、改善要望につなげることができました。
- ・普段から交通安全の活動をしている地域の方々と連携し、青少年相談員がリーダーシップを取ることができました。

参加者（子どもたち）の感想

普段遊んでいる公園にも危険な場所があることに気づき、勉強になりました。

参加者（相談員）の感想

実際に歩いて調査することにより、自分の目で確認することの大切さに改めて気づきました。

【事務局】千葉市こども未来局こども未来部健全育成課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

TEL043-245-5973 E-mail: kenzenikusei.CFC@city.chiba.lg.jp

千城台西中学区青少年相談員連絡会主催事業
(令和3年度 千城台西中学区青少年育成委員との合同イベント)

テーマ 野菜収穫体験ツアー

日時：令和3年11月20日（日）

場所：吉田農園直売所

参加対象・人数：38名

参加相談員数：相談員8名、育成委員6人







13:00	集合、開会式
13:10~13:40	サツマイモ収穫
13:50~14:20	ニンジン収穫
14:30~14:40	ニンジン選別
14:45~15:00	イモリンピック表彰
15:00~	解散

【活動について】

千葉市若葉区は農業も盛んで、特産であるニンジンの収穫体験と、みんな大好きサツマイモの収穫体験を食育しながら行いました。

ここがPoint！

コロナ禍で3年間開催していなかったのですが、当時の記憶と資料を頼りに、なんとか開催することができました。今回初の試みでイモリンピックなるものを開催し、重量、長さ、太さの掛け算をポイントとして、1・2・3位には図書カードとメダルを贈呈しました。

参加者（子どもたち）の感想

大きなお芋が掘れて嬉しかった
ニンジンがいっぱいで驚いた
オリンピックメダルもらえて嬉しかった

参加者（相談員）の感想

天候が心配されたが無事に開催できて良かった。久しぶりに子供達との触れ合いができて、楽しかった。

【その他の事業】

少年文化祭（1月）、千城台夏祭り（7月）

【事務局】 千葉市こども未来局こども未来部健全育成課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

TEL043-245-5973 E-mail: kenzenikusei.CFC@city.chiba.lg.jp

千葉市青少年相談員連絡協議会

(令和4年度・高洲中学区青少年相談員連絡協議会及び育成委員会共同事業)

シーサー絵付け体験



日時：令和4年11月27日(日)

場所：高洲コミュニティセンター

参加対象・人数：84名

(小学生：81名、中学生3名)

スタッフ人数：相談員7名、育成委員5名

12:50～13:30	スタッフ集合、準備
13:30～14:30	1回目 46名
14:30～15:30	2回目 20名
15:30～16:30	3回目 18名
16:30～17:00	後片付け

【活動について】

真っ白なシーサー縦10cm×横7cm×高さ9cmに絵具6色を筆で塗っていくイベントです。

感染症の影響を踏まえ、当初企画の飲食を伴う行事は中止し、あらためて企画を見直し、シーサー絵付け体験を行いました。

初めての企画でしたが、安全に考慮し、ソーシャルディスタンスを守り、子供たちに楽しんでもらうことができました。

ここがPoint！

- 参加予定人数を大幅に上回る応募があった
⇒ できるだけ多くの子ども達が参加できるよう、地域の団体である育成委員会と共同で事業を開催する計画に変更した。
⇒ 共同開催とすることで不足していた予算を補うことができたほか、会場やスタッフの追加確保を育成委員会に対応してもらうことができた。
- スタッフ業務の負担軽減について
⇒ 絵付用のシーサーは旅行会社HISのホームページから手配をすることで買い出しの手間を省く
⇒ 準備する物品は、新聞紙、筆洗容器(牛乳パック等)、手洗石鹸、持帰り袋の程度にした
- 兄弟、友達と同じ時間帯の希望があり、大変だったが調整を行った
- 1時間では塗り終わらないので、家で塗ってもらうこととした
- 手が汚れるので新聞紙を持って回して塗るようにした

参加者(子どもたち)の感想

個別アンケートは取っていませんが、楽しかったという意見が多かったです。
来年は、オス、メスを選びたいとの意見も多かったです。

参加者(相談員)の感想

応募者全員が参加出来て良かった。
行事が少ない中で開催ができて良かった。
時間の都合、塗り終わる子供は少なかったのが残念です。
来年の行事の1つとして計画を検討です。

【事務局】 千葉市こども未来局こども未来部健全育成課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

TEL043-245-5973 E-mail: kenzenikusei.CFC@city.chiba.lg.jp

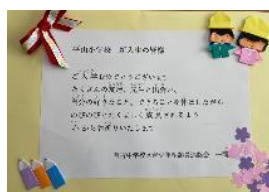
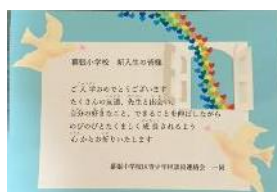
千葉市青少年相談員連絡協議会

「祝電事業（千葉市青少年のつどい大会代替事業）」

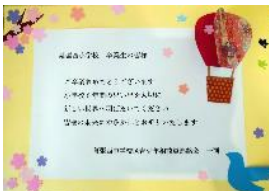
（令和3年度 千葉市連協と学区共同の事業）

地域と相談員を繋ぐ祝電を送ろう

入学



卒業



日時：令和4年3月～4月（R3年度）

場所：各学区小中学校

実施学区数：53学区

実施学校数：小学校108校、54中学校

実施スケジュール：

11月 材料発注

1月 各学区相談員祝電作成



2月末 各小中学校へ祝電持込

【活動について】

卒業生及び新入生をお祝いするとともに、小中学校の保護者及び教員における青少年相談員の知名度UPを図ることを目的として、市内全小中学校に学区相談員手作りの祝電を送った。

ここがPoint！

- ・児童・生徒が集まることができない状況で、相談員が地域（児童・生徒、学校、保護者）と連携できる手段を模索した。
- ・相談員同士で集まることが難しい中で、自宅でそれぞれが作業できる活動を実施した。

参加者（相談員）の感想

- ・イベントの場合は会場のキャパシティの都合等で、市内すべての小中学校の児童・生徒の参加は見込めないが、祝電事業であれば市内全域の児童・生徒と保護者、学校に相談員の活動を周知することができるので良かった。
- ・式典で祝電を送った団体名を読み上げてもらったので、新しく学校に入学する児童・生徒の保護者にも相談員という団体を周知することができるので良いと思う。

【その他の事業】

標語コンクール（6-9月）、研修会（年1・2回）、市青少年のつどい大会（R4はクイズ王決定戦を実施）

【事務局】 千葉市こども未来局こども未来部健全育成課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1 TEL043-245-5973

e-mail: kenzenikusei.CFC@city.chiba.lg.jp

市原市青少年相談員連絡協議会主催

「令和4年度青少年のつどい市原市大会 クイズ王決定戦」

日時：令和4年12月4日（日）

場所：旧内田小学校

参加対象・人数：小学生（95名）

参加相談員数： 79名

【当日のスケジュール】

9:00～9:30	集合・受付
9:30～9:50	開会式
9:50～10:00	ルール説明
10:00～11:30	クイズ（早押し・ジェスチャー・筆記・〇×）
11:30～11:45	集計
11:45～12:00	閉会式・表彰式

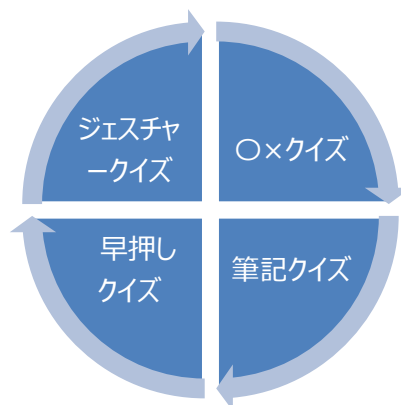


【活動について】

今まで小学生は、ソフトボールとミニバスケットボール、中学生は綱引きという「つどい大会」の内容でしたが、少子化に伴うミニバスチーム数の減少、つどい大会に参加できる児童が限定的などの課題に対応するため、令和の時代の幕開けとともに、小学生誰もが参加できる「クイズ王決定戦」に見直しました。今回は、コロナ禍により3年ぶりの開催となり、平成31年2月に行ったプレ大会を含めると、通算で3回目の大会となります。

ここがPoint！

- 会場は閉校施設である旧内田小学校を活用
- コロナ禍による密を避けるべく体育館、校舎の1階から3階の普通教室や図書室、理科室を活用するなど、学校全体をクイズ会場に
- 4つのクイズ（〇×・筆記・早押し・ジェスチャー）別に会場を分散
- トランシーバー等を活用して情報を共有しながらの運営と筆記クイズの採点を校長室、大会本部を職員室にするなど運営側の体制も工夫
- 前回のクイズ大会の反省点を活かし、内容もブラッシュアップ
- 青少年相談員も子ども達と一緒にジェスチャークイズに参加したり、理科室を会場とする早押しクイズでは、出題者が白衣を着るなど、雰囲気づくりと大人と子どもの一体感を演出
- 1つのクイズ部門ごとに、2～3の担当支部を割り当て、企画から運営まで各部門の創意工夫による大会運営
- 参加者は3人1チームのチーム制で32チーム（95名）の応募があった
- 32チームを4つのグループに分け、4つのクイズを順々にグループごとに回れるよう計画



- 小学1年生～6年生までが楽しめるようクイズの難易度を工夫
- 市原市に関するご当地クイズも出題
- 各グループに引率担当の相談員を配置することで、大会全体の円滑な進行に寄与
- クイズごとに教室を移動するということで子どもたちのワクワク感が高まり、子ども同士はもちろんのこと、青少年相談員とのコミュニケーションも弾んだ
- 景品については、お菓子トロフィーを手作りで作成・準備
- お菓子トロフィーを見た子ども達のテンションが上がり、大好評だった
- 今回参加した青少年相談員からも今後の地域での事業で参考にしたいとの声を多く頂いた
- 行政の広報部門や報道機関への情報提供により取材をしていただくことで、青少年相談員の活動を広くアピールできた

【○×クイズ】



【ジャスチャークイズ】



【早押しクイズ】



【筆記クイズ】



【会場を歩いて移動】



【校長室で筆記クイズを採点中】



【大会本部】



【千葉日報 令和4年12月30日】

【お菓子トロフィーなど】



参加者（子どもたち）の感想

仲良しの友達と力を合わせて答えを考えるのが楽しかった。間違っても正解が知識となりためたになった。
お菓子のトロフィーもうれしかったです！

参加者（相談員）の感想

子どもたちの笑顔をたくさん見る事が出来て、嬉しかった。コロナ禍でイベントがなく、久しぶりのイベントだったので、青少年相談員の自分たちも一緒に楽しむことができました。

【その他の事業】中学生綱引き大会（8月）、折り紙ヒコーキ大会（1月）、市原高滝湖マラソン協力（1月）、その他地域行事等

【事務局】市原市教育委員会 教育振興部 生涯学習課 青少年育成係
〒290-8501 市原市国分寺台中央1-1-1
Tel 0436-23-9850 syougaiagakusyuu@city.ichihara.lg.jp